

# 令和3年度 公共事業再評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	経営体育成基盤整備事業（国補）		事業箇所	葦崎市龍岡町	地区名	龍岡	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画					
	H25~H30	H25~R4	H25~R7					
総事業費	2,000 百万円	2,301 百万円	3,487 百万円					
<b>(1) 事業の概要</b>								
<b>①事業目的及び効果</b>								
<p>本地区は、葦崎市南部の釜無川右岸に位置する水田地帯であり、地域の特産物で食味が高いと評価を得ている「梨北米」の産地として確立されている。</p> <p>しかしながら、農地の区画は不整形で、農道の幅員が狭く、農作業上の安全確保や大型機械の導入が困難な状況であった。</p> <p>また、用排水路については、老朽化により通水機能が低下しているため水管理に時間を費やすなど、農家の負担が増えている状況にある。</p> <p>このため、区画整理による総合的な整備を行うことで担い手への農地集積を促進させるとともに、農業生産力の向上による産地の強化を図るものである。</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上                      ・農業所得増加額 1,816千円/ha≥810千円/ha以上※                      （※評価基準値）</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消                      ○重要プロジェクトとしての位置付け（やまなし農業基本計画）</p>								
<b>②事業概要</b>								
		現計画		変更計画				
	区画整理	A=54.0ha	→	A=54.0ha				
	農道	L=300m	→	L=300m				
<b>③全体計画</b>								
		令和2年度まで		令和3年度 (評価実施年度)		令和4年度以降		
現計画	工事内容	区画整理 A=17ha		区画整理 A=9ha		区画整理 A=28ha 農道 L=300m		
	事業費	1,417 百万円		440 百万円		444 百万円		
変更計画	工事内容	区画整理 A=17ha		区画整理 A=9ha		区画整理 A=28ha 農道 L=300m		
	事業費	1,417 百万円		440 百万円		1,630 百万円		
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。								
<b>④特記事項（関連事業概要等）</b>								
なし								
<b>⑤これまでの評価状況（平成24年度事前評価）</b>								
<p>本事業は、後継者不足や耕作放棄地の増加、農業生産性の低下などの問題を抱える中で、経営体を育成し、農作業の効率化や農業経営の安定化などを図る上で必要な事業であり、実施が妥当である。</p>								
<b>(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕</b>								
(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
<b>①地域・住民の意向状況</b>								
担い手への集積計画に基づく基盤整備が進んでおり、区画整理の早期完成が望まれている。								
<b>②産業・経済情勢</b>								
なし								
<b>③国等の方針</b>								
なし								
<b>④上位計画・関連事業計画等</b>								
やまなし農業基本計画（令和元年12月策定）								
<b>⑤自然環境条件等</b>								
なし								
<b>⑥その他</b>								
なし								
<b>(3) 評価項目〔評価時点の費用対効果分析〕</b>								
	項目	着手時点		変更計画時点				
	総事業費	2,000 百万円		3,487 百万円				
	工期	H25 ~ H30		H25 ~ R7				
経済 効率 率 性	評価基準年	H24		R3				
	費用	1,840 百万円		3,450 百万円				
	建設費	1,840 百万円		3,450 百万円				
	便益	2,660 百万円		3,632 百万円				
	作物生産効果	580 百万円		786 百万円				
	営農経費節減効果	1,330 百万円		1,340 百万円				
	走行経費節減効果	140 百万円		196 百万円				
	その他※	610 百万円		1,310 百万円				
	B/C	1.4		1.1				
	費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上							
※その他は、文化財調査効果、国産農産物安定供給効果、地積確定効果 維持管理費節減効果、一般交通等経費節減効果、農業労働環境改善効果								

## 2.評価シート

**(4) 評価項目【これまでの計画変更等の概要】**

物価変動等により事業費を増額するとともに換地計画の策定に期間を要したことから、計画期間を4年間延期をした。

	当初	→	現計画
総事業費	2,000百万円		2,301百万円
計画期間	4年延長		

**(5) 評価項目【事業進捗状況及び見込み】**

**①進捗率**  
別表のとおり。  
R3年度進捗率（現計画）90.0%→（実績）80.8%→（変更計画）53.3%

**②進捗率実績が計画と相違している理由**  
幹線道路の路線計画変更に伴い、流域下水道管の移設が必要となったこと、また詳細設計により既設流末水路の断面不足が判明し、追加改修が必要となり日数を要したことによる。

**③総事業費の変更内容**

変更工種等	事業費増減	変更理由
補償費 (流域下水道管移設費等)	986百万円の増	幹線道路の路線計画変更に伴い、流域下水道管の移設が必要となった。また想定より遺跡が広範囲であることが判明し、文化財調査面積が増となったため。
区画整理工 (排水路)	200百万円の増	詳細設計により既設流末水路の断面不足が判明し、水路改修が必要になったため。
合計	1,186百万円 増	

**④事業期間の変更理由及び進捗予定**  
流域下水道管の移設や文化財調査、既設流末水路の改修に期間を要しているが、地元からは区画整理の早期完成を強く望まれているため、計画的な事業実施に努め、工期を3年間延長し、令和7年度の完了を目指す。

**⑤今後の事業執行における留意点**  
なし

**(6) 評価項目【環境負荷等への配慮】**

**(7) 評価項目【コスト縮減の可能性】**  
なし

**(8) 評価項目【代替案立案の可能性】**  
なし

**(9) 所管部の今後の方針** 継続・見直し継続・その他( )

(理由)  
本地区は、今後も基幹作物として高品質で需要が高い主食用米の栽培を推進することとしており、地域農業の発展に必要な基盤整備を行うものであることから、事業を継続し、令和7年度完了を目指す。

**〇別表-進捗率（事業費ベース）**

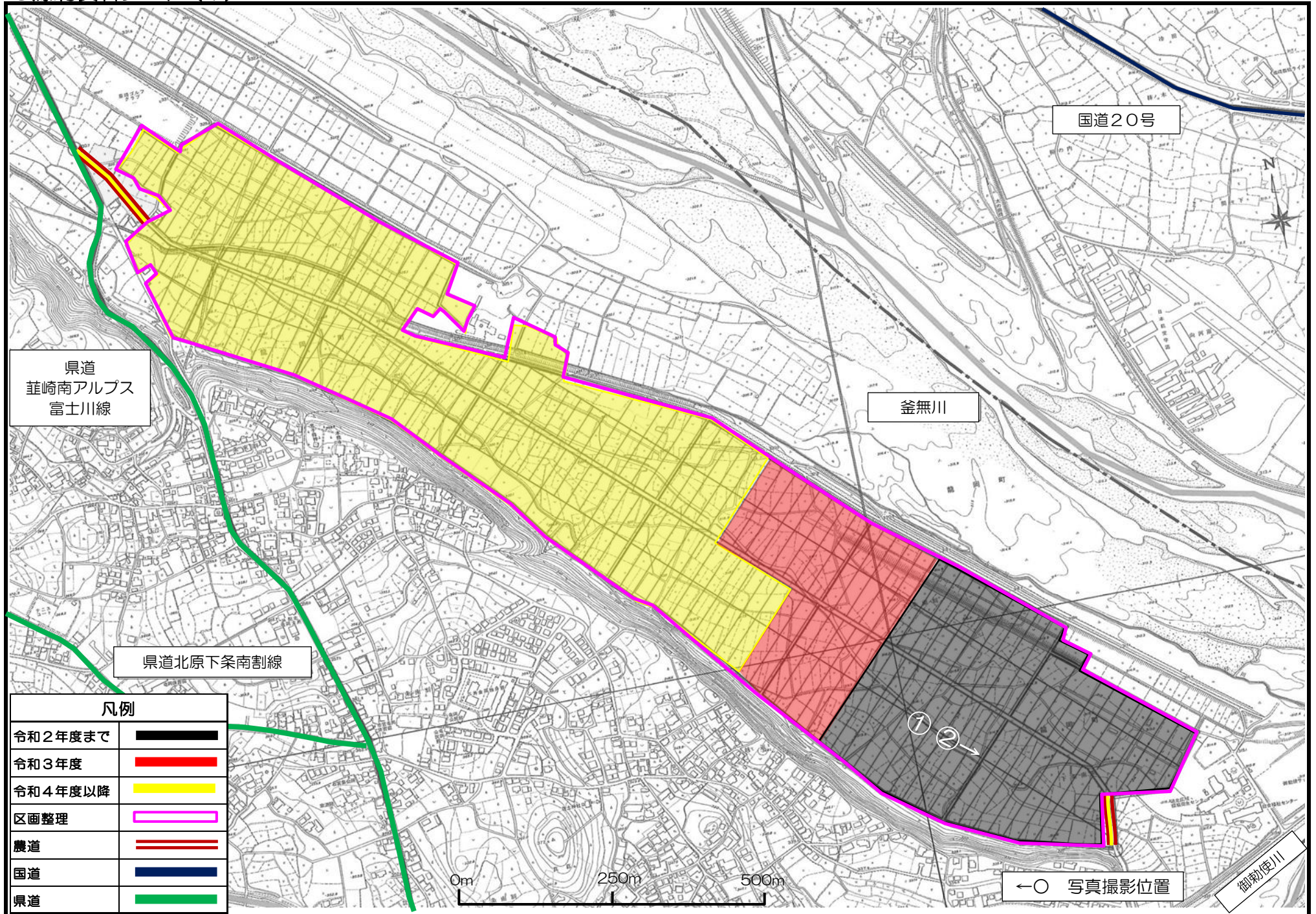
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6	R7
現	計画	2.4	5.3	5.7	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0	90.0	100			
	実績	2.4	5.3	5.7	10.5	15.8	17.5	36.8	61.7	80.8				
変更計画										53.3	69.1	81.7	94.3	100

\*事業着手年度又は評価年度

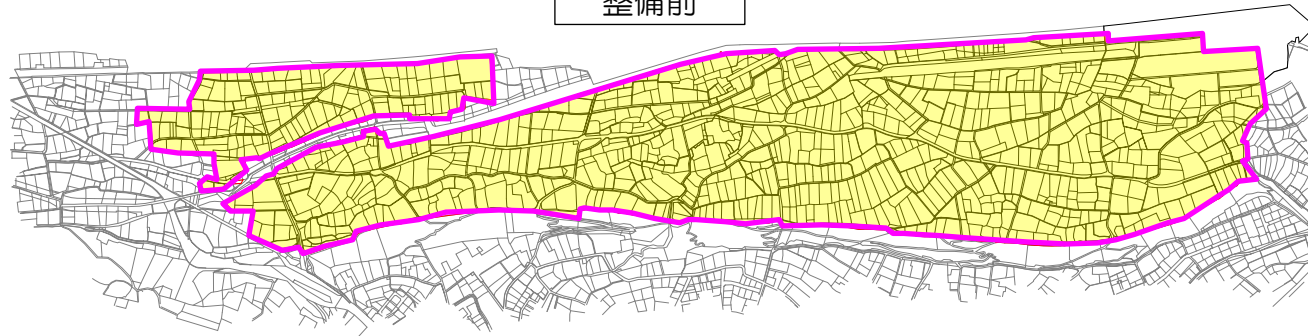
\*R3年度の実績は見込み

### 3. 添付資料シート (1)



### 3.添付資料シート(2)

整備前

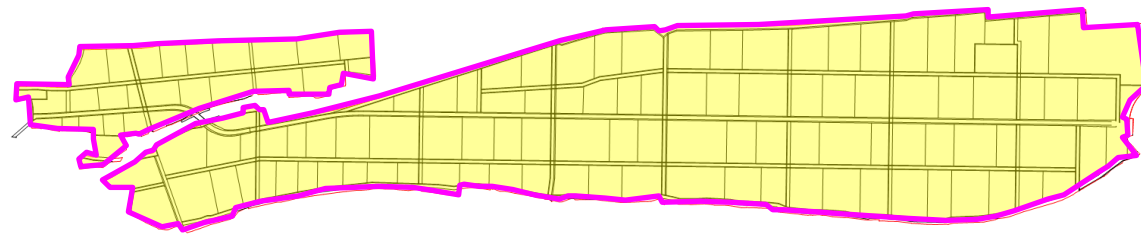


区画数  
1,068区画 → 103区画

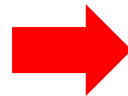


平均区画面積  
506m<sup>2</sup> → 4,846m<sup>2</sup>

整備後



①整備前



②現在の状況(施工中)

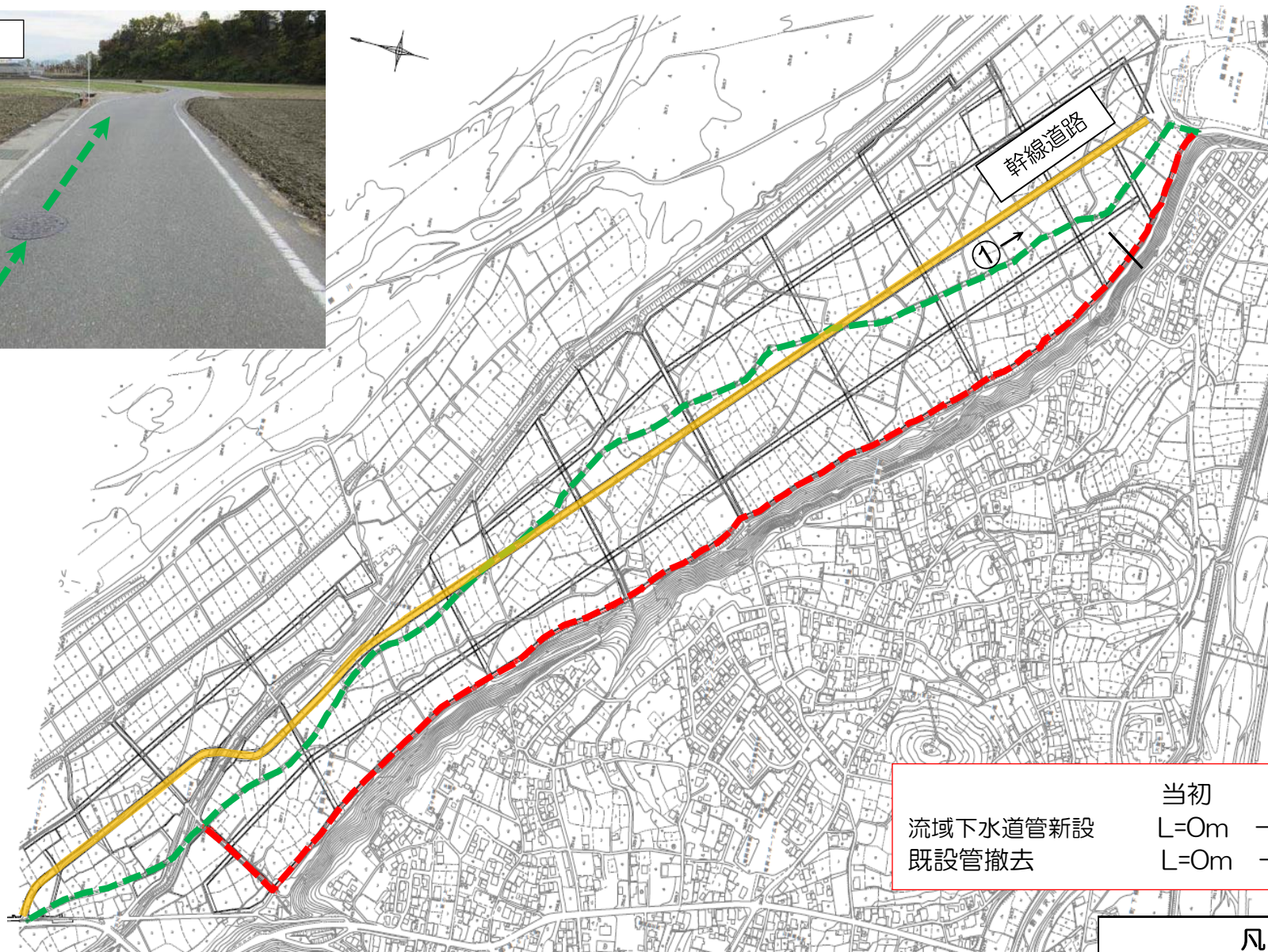


③完成後イメージ



不整形な農地を整形することで、営農条件を改善し、生産性を向上させる。

### 3. 添付資料シート (3)



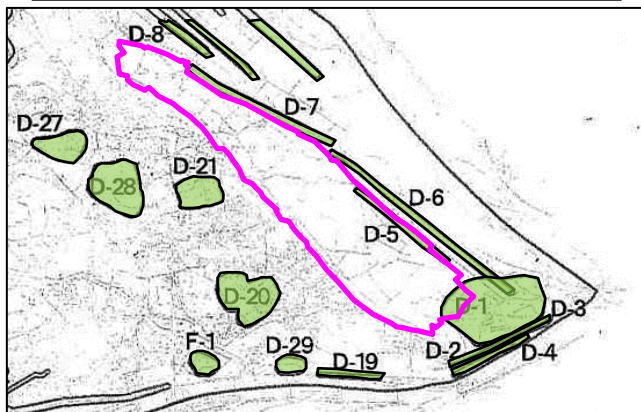
	当初	変更
流域下水道管新設	L=0m	→ 1,979m
既設管撤去	L=0m	→ 1,836m

凡例	
既設管渠	■ ■ ■ ■ ■
新設管渠	■ ■ ■ ■ ■
幹線道路	■■■■■■■■■■

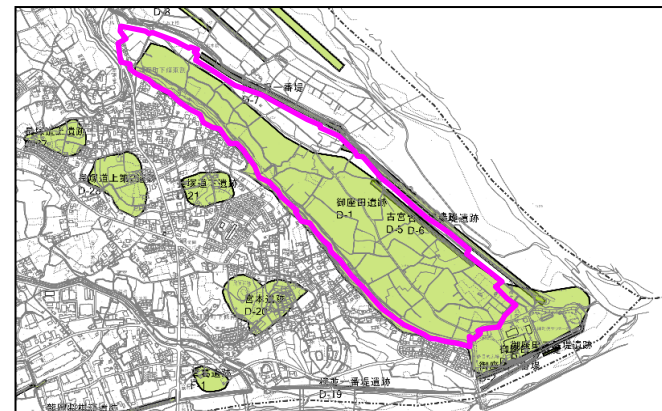
幹線道路について、利便性向上のため、路線計画（線形、勾配）の変更を行ったことに伴い、流域下水道管の移設が必要になったため、補償費が増となった。

### 3. 添付資料シート (4)

当初 埋蔵文化財包蔵地範囲(H13.3)

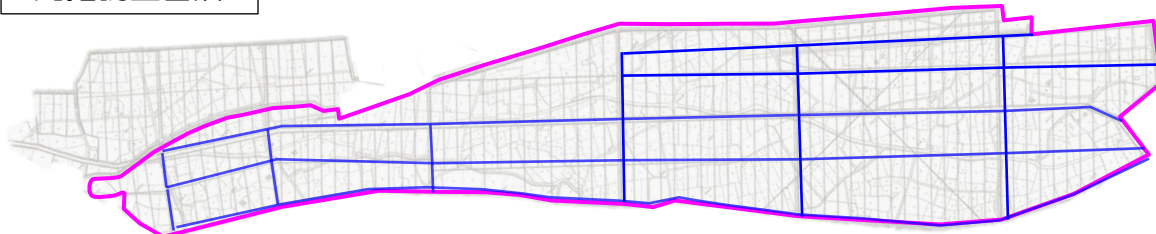


変更 埋蔵文化財包蔵地範囲(R2.7)



調査開始後、遺跡が広範囲であることが判明し、葦崎市教育委員会が埋蔵文化財包蔵地範囲の変更を行ったことから調査範囲が拡大した。

発掘調査箇所



主に恒久的な工作物（農道等）整備箇所を調査することとしている。

調査状況



見学会状況

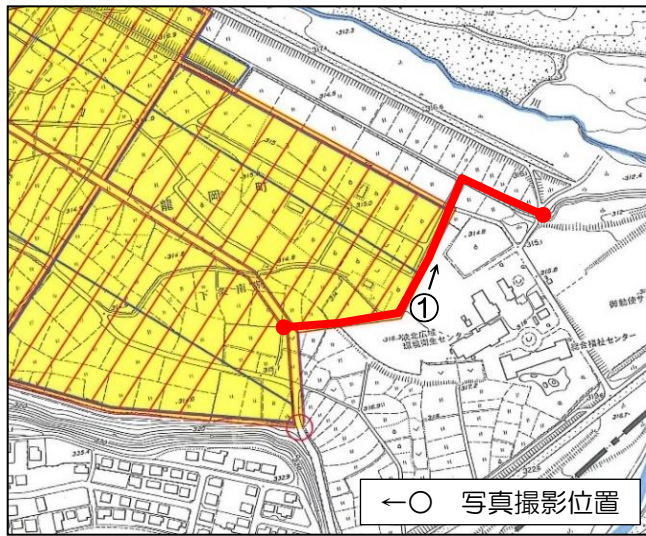
凡例	
発掘調査箇所	— (Blue line)
事業エリア	— (Pink line)



県内最古の「須恵器」と呼ばれる焼物が大量に出土し、焼物生産の歴史を大きく変える発見と評価され、見学会には県内外から200名程度が訪れた。

### 3. 添付資料シート (5)

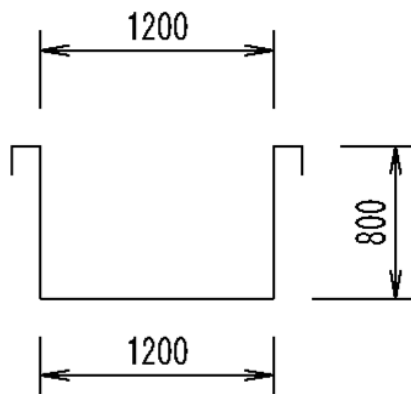
平面図



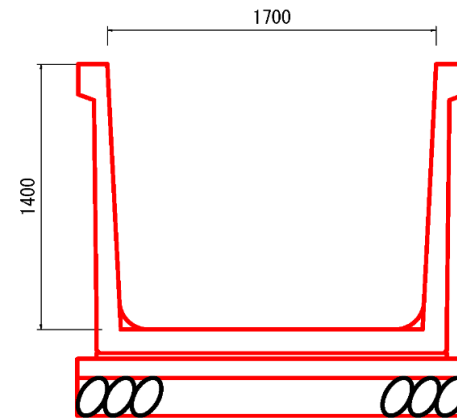
現況写真



現況断面



必要断面



詳細設計により既設流末水路の断面不足が判明し、水路改修が必要となった。

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	55,000	測量設計 一式	1.6%
H26	66,000	測量設計 一式	3.5%
H27	11,000	測量設計 一式	3.8%
H28	110,000	区画整理付帯工、測量設計 一式、補償費 一式	6.9%
H29	121,000	区画整理付帯工、測量設計 一式	10.4%
H30	39,917	区画整理付帯工、測量設計 一式	11.6%
R1	443,300	区画整理A=3ha、測量設計 一式、補償費 一式	24.3%
R2	573,100	区画整理A=14ha、測量設計 一式、補償費 一式	40.7%
R3	440,000	区画整理A=9ha、測量設計 一式、補償費 一式	53.3%
R4	550,000	区画整理A=10ha、測量設計 一式、補償費 一式	69.1%
R5	440,000	区画整理A=8ha、農道 L=200m、測量設計 一式、補償費 一式	81.7%
R6	440,000	区画整理A=7ha、農道 L=100m、補償費 一式	94.3%
R7	197,683	区画整理A=3ha	100.0%
合計	3,487,000		